

〔1〕 次の文章を読み、問1～問6に答えよ。(25点)

日本列島では、西日本で水稻農耕が始まると、北海道と南西諸島を除く地域では、^(a)食料生産が本格化した。弥生時代には、こうした農耕に伴い、集落を構成する竪穴式住居の数も多くなり、大規模な集落も各地に現れた。それらの中には、まわりに深い溝や土塁をめぐらせた もあった。

古墳時代になるとこのような は少なくなり、地域の支配者が住む居館と、一般の人びとが住む集落とに分かれた。また近畿地方には、大王の住む王宮を中心に、有力王族や有力豪族の拠点が集中した。

飛鳥時代には、奈良盆地南部の飛鳥の地に大王の王宮が次々に営まれた。その近辺に王権の諸施設が整えられると、飛鳥の地は次第に都としての姿を示すようになり、本格的宮都が営まれる段階へと進んだ。乙巳の変の後の難波宮、白村江の戦いの後の近江大津宮など、王宮の移動が行われるが、壬申の乱の後、 は飛鳥浄御原宮で即位し、天武天皇となった。天武天皇の後を継いだ持統天皇は、694年には宮都藤原京に遷都した。

710年、 天皇は藤原京から奈良盆地北部の平城京へと遷都した。平城京は、唐の都長安にならい、^(b)碁盤の目状に東西・南北に走る道路で区画される をもつ都市であった。都は中央を南北に走る朱雀大路で東の左京と西の右京とに分けられ、北部中央には平城宮が位置した。京には貴族・官人・庶民が住み、東大寺・西大寺などの大規模な仏教寺院が造営された。一方で、仏教は^(c)政府から厳しく統制を受け、一般に僧侶の活動も寺院内に限られていた。

781年に桓武天皇が即位すると、仏教を重視する政治の弊害を改め、天皇権力を強化するために、784年に平城京から山背国の長岡京に遷都した。しかし、長岡京造営を主導した が暗殺される事件が起こり、794年には平安京に遷都して山背国を山城国と改めた。桓武天皇は長い在位期間のうちに天皇の権威を確立し、積極的に政治改革を進めた。桓武天皇の改革は平城・嵯峨天皇^(e)にもひきつがれた。嵯峨天皇^(d)は、即位の後810年に、平城京に再遷都しようとする兄の平城太上天皇と対立し、政治的混乱が生じたが、嵯峨天皇側が兵を展開して勝

利した。これにより、太上天皇は出家した。平安京はこれ以降、天皇が住まう都として長く存続していくことになった。

問 1. 空欄 ～ に入る歴史用語・人名を記せ。

問 2. 下線部(a)について、水稻農耕が行われるようになって以降も、北海道および南西諸島では狩猟・採集活動を行う文化が続いた。このうち、弥生～平安時代に並行する時期の南西諸島における食料採集文化のことを何とというか、記せ。

問 3. 律令国家は、下線部(b)にならい和同開珎を鑄造した。銭貨は都の造営に雇われた人びとへの支給など宮都造営費用の支払いに利用されたものの、京・畿内を中心とした地域の外では、稲や布などの物品による交易が広く行われていた。このため、銭貨の流通量の増加を目指して政府が発した法令を何とというか、記せ。

問 4. 下線部(c)について、この時期に寺院外での活動を広く行った僧として行基が知られている。行基が民衆に対して仏教の布教とともに行った活動を 30 字以内で説明せよ。

問 5. 下線部(d)の改革の一つとして、令外官として設けられた勘解由使がある。この勘解由使の役割とそれが設けられた要因について、90 字以内で説明せよ。

問 6. 下線部(e)は唐風の書で有名であり、のちに三筆と称せられる。三筆の残り 2 名の人名を記せ。

〔2〕 次の文章を読み、問1～問4に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(25点)

日本における銅生産は、精錬しやすい酸化銅の利用から始まったが、当時の技術の限界もあり、平安中期以降、生産が大幅に落ち込んだ。そのため、国産銅が不足する日本には、大陸産の銅が流入するようになった。平安後期、末法思想が浸透するなか、法華経などの経典を書写し、これを未来の世界に伝えるため、銅製の容器などにおさめて地中に埋める ア が各地で営まれた。自然科学分析によると、これらの銅製の容器の原材料が、国産材料から中国産材料へと変容したことをうかがわせる数値が出ている。中世前期の日本は、中国から イ を大量に輸入しているが、それらは輸入後、銅の原材料としても用いられた可能性がある。有名な鎌倉大仏の原材料にも、こうした輸入銅が用いられていた可能性が指摘されている。^(a)しかし、日本で硫化銅を精錬できる技術が広まると、15世紀以降、日本の銅生産が高まり、明や朝鮮にも銅を輸出できるようになった。

足利義満によって開始された遣明船は、勘合を所持し、多くの日本の工芸品に加えて、中国山地から産出する銅や、薩摩硫黄島や豊後硫黄山などの硫黄のほか、^(b)加賀産の^{めのう}瑪瑙なども積載して、中国大陸に輸出した。硫黄は、日宋貿易以来の日本の主要な貿易物資であり、明だけでなく朝鮮にも大量に輸出された。15世紀後半に朝鮮で成立した『海東諸国紀』(日本と琉球の歴史・地理・風俗・言語・通交の実情を記す)に収載される日本の地図では、薩摩硫黄島が大きく描かれている。

銀もまた、技術革新によって金属生産が飛躍的に増加した。神屋寿禎をはじめとする博多商人によって開発された中国地方西部の^(c)銀山では、新技術が1530年代初めに導入された結果、銀の増産が可能となった。大量の銀は、博多商人によって国際貿易港である博多からアジアに輸出された。大量の銀は、国外のみならず国内にも浸透し、例えば日本の政治・経済・文化の中心地である京都では、1560年代前半に銀が流入し始めたと言われる。

問 1. 空欄 ・ に入る歴史用語を記せ。

問 2. 下線部(a)は、宋風の仏像として知られているように、鎌倉時代の寺院には宋の影響を受けたものが確認できる。とりわけ、寺院の建築様式としては大仏様や禅宗様が有名である。鎌倉時代以降に建立され、現存する大仏様と禅宗様の代表的建造物を各々 1 つ記せ。

問 3. 下線部(b)について、遣明船に積載する瑪瑙の調達先が、史料 A と史料 B では異なっている。なぜ調達先が変わったのか、その歴史的背景について 75 字以内で述べよ。

史料 A

一、瑪瑙 (中略) 五ヶ、富樫殿^{これ}之を進上す。(後略)

(原漢文、『戊子入明記』)

〔注〕 『戊子入明記』= 応仁の乱の頃に派遣された遣明船にかかわる史料が収載される。

史料 B

一、大内方^よ従り書状^{なら}並びに^{どんす}段子一端、使僧を以て到来し候。仍て瑪瑙渡唐の儀に^つ就きいり候間、所持候はば所望候。また左様無きにおいては、加州に在るの物候間、廿^つ給ひ候へと申され候。加州にては^{なた}那谷の観音堂の下に在るの由、^{つかい}使申し候。

(原漢文、『天文日記』天文 5 年 12 月 24 日条)

〔注〕 段子=練糸で製し、地が厚く光沢の多い絹織物。

渡唐の儀=遣明船を派遣すること。この時の遣明船は大内氏の経営による。

加州=加賀国。

廿=二十。

『天文日記』=浄土真宗本願寺第 10 世^{しようによ}証如の日記で、当時の本願寺をはじめ社会の状況などが記される。

天文 5 年=1536 年。

問 4. 下記の史料 C～G を踏まえ、下線部(c)から産出した銀によって生じた現象や影響について 240 字以内で述べよ。

史料 C

鳥飼の村浜銭を且納するの事

合わせて銀七十八文目者

右、春納として、請け取り申す所、件の如し。

永禄二年四月廿日

鳥飼対馬入道

万休(花押)

庄屋宮内丞殿

(原漢文, 「明光寺文書」)

〔注〕 且納=分割して納めること。

鳥飼の村=博多近郊にある村。

永禄二年=1559 年。

史料 D

日本国使、通信を以て名と為し、多く商物を齎し、銀兩八万に至る。銀は宝物と雖も、民、之を衣食すべからず。実に無用たり。我国、方に綿布を以て行用し、民、皆此に頼りて生活す。民の頼る所を以て、其の無用の物に換え、利は彼に帰し、我れ其の弊を受く。甚だ不可たり。(後略)

(原漢文, 『中宗実録』37 年 4 月甲戌条)

〔注〕 日本国使=実態は、対馬宗氏が創出した使節。対馬と博多とは朝鮮貿易において密接な関係にあり、この時の使節の正使も対馬と博多ゆかりの人物であった。

行用=行使。用いること。

『中宗実録』37 年=1542 年。『中宗実録』は、朝鮮国王である中宗の時期の歴史が編年体で記されている。

史料 E

倭使の来たるは、皆齋銀貿売せいぎんぼうばいの利の為なり。鍊銀の術、之これを我が国より学ぶ。
(後略)

(原漢文、『中宗実録』37年5月丙申条)

[注] 齋銀貿売=銀を持ち込んで売りさばく。

史料 F

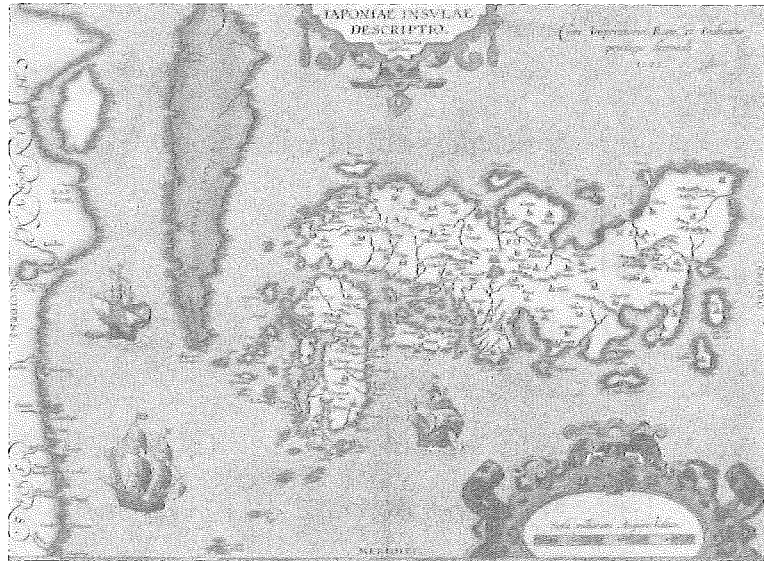
(前略)倭国の銀を造ること、未だ十年に及ばざるに、我国に流布し、已すでに
賤物となる。(後略)

(原漢文、『中宗実録』37年閏5月庚午条)

[注] 賤物=ありふれた物。

史料 G

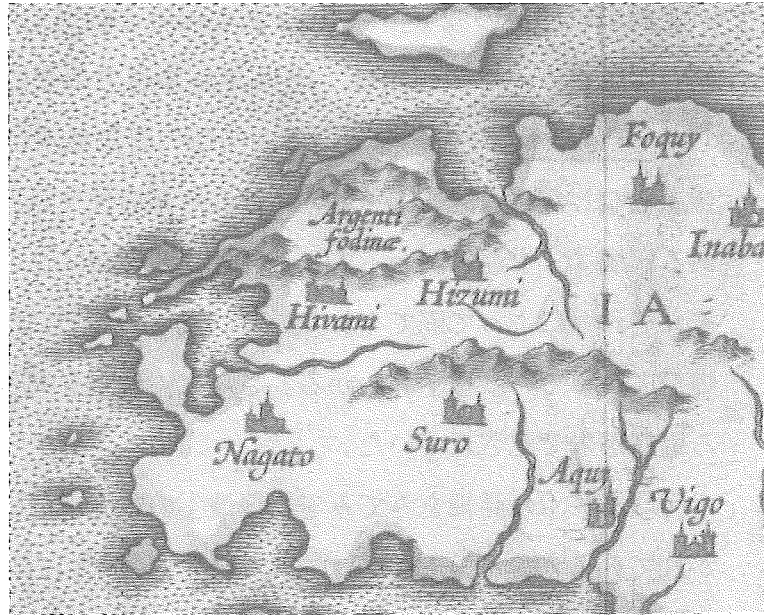
(地図の全体)



(ティセラ「日本図」1595年刊行)

[注] ティセラ=ポルトガルのイエズス会士で地図製作者。

(地図のうち中国地方西部の拡大図)



〔注〕 Hizumi = 出雲。

Argenti fodinae = 銀鉾山。

Hivami = 石見。

Nagato = 長門。

Suro = 周防。

〔3〕 次の文章を読み、問1～問8に答えよ。(25点)

肥前国唐津藩の城下の様子を「肥前国唐津城廻絵図」(国立公文書館蔵)から概観してみよう。この絵図は、1644年、幕府の命令によって、諸藩が作成・提出した「正保城絵図」の一つである。当時の唐津城下は、本丸・二の丸・三の丸・^(a)侍屋敷などがある区域①、職人・商人らが居住する区域②、鉄砲町・弓町などがある区域③、水運に関わる人々が居住する区域④などがあった。区域①～④は、それぞれ堀によって隔てられている。城下の周辺には、百姓屋敷などがあり、田畑が広がっている様子もわかる。さらに、城下を通る街道には、肥前名護屋に至る道筋が朱で記されていた。^(b)

区域①～④の詳細をみってみる。区域①の本丸部分には、石垣や櫓・壁などは描かれているが、天守は描かれていない。区域②には、米屋町・呉服町・八百屋町・紺屋町・木綿町などが確認できる。^(c)区域③の町名の由来になった鉄砲は、九州、^(d)和泉国の堺、紀伊国の根来・雑賀、近江国の の鉄砲鍛冶らによって製造され普及した。区域④には、船頭屋敷・加子町・船小屋などがあり、城下^(e)が水運の拠点でもあったことが窺える。

唐津藩主については、寺沢家の2代目堅高が、島原・天草一揆の責任を問われ、同家の領地であった天草は幕府の領地となる。1647年、堅高が死去した時、跡継ぎがいなかった寺沢家は改易となる。^(f)その後、唐津藩は、大久保家・松平家・土井家・水野家・小笠原家など、譜代大名によって治められた。唐津藩主の経歴があった松平乗邑は、1737年、勝手掛老中となり、神尾春央などを率いて幕府財政の再建にあたった。春央が幕領で広めた年貢の算出方法は、検地による田畑の等級などに関わりなく、田畑一筆ごとに坪刈を行って収穫量を定める「有毛 」と呼ばれる。

問 1. 空欄

ア

 に入る地名と空欄

イ

 に入る語句を記せ。

問 2. 下線部(a)は、国絵図・郷帳などともに作成・提出された。これに先立ち、豊臣秀吉が、1591年、全国の大名に対して、国絵図と御前帳(検地帳)の作成・提出を命じている。豊臣政権における、その軍事的な意義を45字以内で説明せよ。

問 3. 下線部(b)には、文禄・慶長の役における本陣が設けられていた。この戦いにおいて、朝鮮の水軍を率い、亀甲船を駆使して、日本軍の補給などを攪乱した人物の姓名を記せ。

問 4. 下線部(c)に関連して、現在の唐津城の天守は、1966年、鉄筋コンクリートによって建設された。昭和期において天守が模造・復元された事例は多いが、戦国時代から江戸時代に造られた天守が現存する城もある。そのような城のうち、ユネスコの世界文化遺産として登録された旧播磨国にある城の名称を記せ。

問 5. 下線部(d)の町名は、染織業が由来となっている。阿波国が主要産地であった染め物の原料名を記せ。

問 6. 下線部(e)に関連して、東廻り海運・西廻り海運などの海上交通網の形成、安治川の開削などに尽力した人物の姓名を記せ。

問 7. 下線部(f)のような領地を支配した役職名を何とというか、漢字2字で記せ。

問 8. 下線部(g)に関連して、主家を失った武士の増加に対する幕府の政策について、当時の社会情勢などを踏まえつつ、120字以内で説明せよ。但し、次の6つの語句を必ず用いること。

改易	由井正雪	末期養子	徳川家光	浪人	かぶき者
----	------	------	------	----	------

〔4〕 次の文章A・Bを読み、問1～問9に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(25点)

A. 1945年、日本はポツダム宣言を受諾し、アメリカ軍を主力とする連合国軍によって占領された。連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)が東京に置かれ、日本政府に指令・勧告を行う間接統治の方式がとられた。さらに、連合国の対日占領政策の最高決定機関としてワシントンに ア が置かれ、その決定はアメリカ政府を通じてGHQに伝えられた。

民主化政策が実施される中で、政党の再建や結成も行われた。1945年10月に日本共産党が合法政党として活動を開始し、11月、日本自由党などが誕生した。12月には、^(a)女性参政権を認めた選挙法が制定され、翌年に実施された衆議院議員総選挙では、日本自由党が第一党となった。そして、公職追放処分を受けた鳩山一郎にかわって、外交官出身の吉田茂が内閣を組織した。吉田内閣は、^(b)経済安定本部を設置するとともに、1946年12月、^(c)傾斜生産方式を閣議決定した。

吉田内閣の下、1947年4月、衆参両院議員の選挙が行われ、その結果、日本社会党が衆議院の第一党となり、片山哲による連立内閣が発足した。片山内閣は、炭鉱国家管理問題などをめぐり与党内で対立が生じ、翌年、総辞職した。ついで、芦田均が内閣を組織したが、広く政界からGHQまで巻き込んだ^(d)疑獄事件を受けて退陣した。

問 1. 空欄

ア

 に入る組織の名称を記せ。

問 2. 下線部(a)の獲得をめざし、市川房枝らによって1924年に結成された組織の名称を記せ。

問 3. 下線部(b)が文部大臣在職時、ある人物への休職処分をめぐって、京都帝国大学法学部の多くの教授らが辞表を提出する事件が発生した。この休職処分を受けた人物の姓名を記せ。

問 4. 下線部(c)について、30字以内で説明せよ。

問 5. 下線部(d)の名称を記せ。

B. 次の史料は、日本と大韓民国との間で結ばれた条約の一部である。

第一条 両締約国間に外交及び領事関係が開設される。両締約国は、大使の資格を有する外交使節を遅滞なく交換するものとする。また、両締約国は、両国政府により合意される場所に領事館を設置する。

第二条 千九百十年八月二十二日以前に大日本帝国と大韓帝国との間で締結
^(e)されたすべての条約及び協定は、もはや であることが確認される。

第三条 大韓民国政府は、 総会決議第百九十五号(Ⅲ)に明らかに示されているとおりの朝鮮にある唯一の合法的な政府であることが確認される。

(『官報』)

問 6. この条約が結ばれた時の大韓民国の大統領は、1961年のクーデタによって政権を掌握した人物である。この大統領の姓名を記せ。

問 7. 空欄 に入る字句を記せ。

問 8. 空欄 に入る機構の名称を記せ。

問 9. 下線部(e)に関連して、次の史料①～④は、日韓両国の間で結ばれた条約と協約の一部である。史料①～④の内容を踏まえつつ、日本による韓国の植民地化の過程を210字以内で説明せよ。ただし、史料①～④については、「①によって……」、「……ことが①からわかる」などのように、文中で①～④の記号を用いて明示し、結ばれた年代順に説明すること。

史料①

第一条 日本国政府ハ在東京外務省ニ由リ今後韓国ノ外国ニ対スル関係及事務ヲ監理指揮スヘク日本国ノ外交代表者及領事ハ外国ニ於ケル韓国ノ臣民及利益ヲ保護スヘシ

第二条 日本国政府ハ韓国ト他国トノ間ニ現存スル条約ノ実行ヲ全フスルノ任ニ当リ韓国政府ハ今後日本国政府ノ仲介ニ由ラスシテ国際的性質ヲ有スル何等ノ条約若ハ約束ヲナササルコトヲ約ス

第三条 日本国政府ハ其代表者トシテ韓国皇帝陛下ノ^{けっか}闕下ニ一名ノ統監(レジデント, ゼネラル)ヲ置ク統監ハ専ラ外交ニ関スル事項ヲ管理スル為メ京城ニ駐在シ親シク韓国皇帝陛下ニ内謁スルノ権利ヲ有ス

(『日本外交年表竝主要文書』)

[注] 闕下=天子の御前。

史料②

第一条 韓国皇帝陛下ハ韓国全部ニ関スル一切ノ統治権ヲ完全且永久ニ日本国皇帝陛下ニ譲与ス

第二条 日本国皇帝陛下ハ前条ニ掲ケタル譲与ヲ受諾シ且全然韓国ヲ日本帝国ニ併合スルコトヲ承諾ス

(『日本外交年表竝主要文書』)

史料③

第一条 韓国政府ハ施政改善ニ関シ統監ノ指導ヲ受クルコト

第二条 韓国政府ノ法令ノ制定及重要ナル行政上ノ処分ハ予メ統監ノ承認ヲ経ルコト

第五条 韓国政府ハ統監ノ推薦スル日本人ヲ韓国官吏ニ任命スルコト

(『日本外交年表竝主要文書』)

史料④

一 韓国政府ハ日本政府ノ推薦スル日本人一名ヲ財務顧問トシテ韓国政府ニ^{ようへい}傭聘シ財務ニ関スル事項ハ^と総テ其意見ヲ詢ヒ施行スヘシ

一 韓国政府ハ日本政府ノ推薦スル外国人一名ヲ外交顧問トシテ外部ニ傭聘シ外交ニ関スル要務ハ^と総テ其意見ヲ詢ヒ施行スヘシ

(『日本外交年表竝主要文書』)

[注] 傭聘=頼んで雇うこと。